

# 後援会だより

「子どもの母校は我が母校」  
後援会が保護者の皆さまと作るページです。

※( )内はお子さまの名前/学部

## 新入生保護者の皆さまへ



法政大学後援会会長  
千葉 大一

法政大学に入学された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、新入生の父母・保証人の皆さまにも、心からお祝い申し上げます。法政大学後援会(後援会)は、学部生の父母・保証人によって構成され、入学と同時に後援会に入会されますので、後援会の歴史・活動目的につき皆さまのご理解、ご協力が不可欠です。

### 「後援会とは」

後援会は戦後間もない1947年、荒廃した大学施設・教育環境を改善するため、学生の父母・保証人の支援により自発的に立ち上がった組織です。これが他の大学の父母会・後援会とは異なる、法政大学後援会の特色です。設立から67年を迎え、会員数は約2万7千人、全国36支部と首都圏で活動を行う歴史と伝統がある組織です。

### 「活動目的」

後援会会則に「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」とあります。その趣旨に則り、各種寄贈、学生活動への補助、資格試験講座の助成など、学生及び大学への財政的な支援活動を行っております。また、「新入生父母の集い」や「父母懇談会」などの開催に加え、広報誌「HOSEI」(法政)及び後援会HPにて、活動情報を発信しております。

### 「大学との架け橋」

後援会では、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、学生と大学を支援する一番の応援団であり続ける活動を行っておりますので、後援会活動に関心を寄せて頂くと共に、ご協力をよろしくお願い致します。

## 「法政大学後援会総会」開催のお知らせ

法政大学後援会では会則第11条により、2014年度の総会を開催いたします。総会終了後、大学主催の感謝状贈呈式ならびに懇親会が開催されますので、ぜひご出席ください。なお、会員の皆さまにはこの記事をもって総会開催通知とさせていただきます。  
法政大学後援会会長 千葉 大一

- 【日時】 2014年6月7日(土) 13:00～(14:30終了予定)  
【会場】 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎6階「薩埵ホール」東京都千代田区富士見2-17-1  
【交通】 JR総武線:市ヶ谷駅または飯田橋駅下車、徒歩10分  
都営新宿線:市ヶ谷駅/都営大江戸線・東京メトロ東西線:飯田橋駅/東京メトロ有楽町線:南北線:市ヶ谷駅または飯田橋駅下車いずれも徒歩10分  
【議題】 (1) 2013年度事業報告と決算案について  
(2) 2014年度事業計画と予算案について  
(3) 役員を選出について  
(4) その他

出席希望の方は、はがきまたはFAX、E-mailに必要事項(①～③)をご記入のうえ、5月23日(金)までに、後援会事務局までお送りください。

- ①法政大学後援会総会にご出席の旨  
②出席される方のご住所、ご氏名  
③学生の氏名・学部・学生証番号

法政大学後援会事務局 東京都千代田区九段北3-2-3  
法政大学九段校舎4F  
TEL:03-3264-9350 FAX:03-3264-9367  
E-mail:koenkai@hosei.ac.jp



## 体育会応援24「レスリング部」



齋藤 弘昌  
(ほのか/キャリアデザイン学部)

小学6年の頃、娘が突然私に「私にもっと似合ったスポーツがあるのでは」と問いかけてきました。

それまでの娘はスポーツクラブやスイミングスクールに通い、わんぱく相撲、体操、新体操、鉄人レース(アクアスロン・注1)、フットサルなどさまざまなスポーツにチャレンジして、それぞれに好成績を残してきました。特にスポーツクラブで取り入れていたカバディ(注2)が得意で、上級生や男子にも負けたことがありませんでした。

娘にどのようなスポーツが向いているのか考えている時に、新聞でレスリングの天皇杯(全日本レスリング選手権大会)が行われていることを知りました。

素人ながらにレスリングの構えや動きがカバディに似ているのではないかと考え、スポーツ観戦好きな私は娘と息子を連れ興味津々レスリングを観に行きました。

熱気溢れる会場には、2004年のアテネオリンピックメダリストの吉田沙保里選手や伊調千春選手、伊調馨選手、浜口京子選手が出場していて活躍されている姿がありました。

それを見た娘は「私もレスリングをやってみる」と言ったのです。とは言うもののレスリングをどこで教えているのか聞いたこともなく、インターネットで松戸ジュニアレスリングクラブを知り、お世話になることにしました。

小学6年の途中からレスリングを始めるのは一般的には遅かったようですが、基本的な体の動きはできていたようです。そしてすぐ練習に付いていけるようになり、数カ月でローカル大会ではありますがメダルを取れるまでに成長しました。

中学生になると、女子レスリングでは東の横綱といわれる安部学院高校の成富利弘監督が出稽古を受け入れてくださり、高校生、大学生、社会人の方々と練習をする機会を得ました。



2006年10月練習後、弟の偉太(小学3年)、伊調馨選手、ほのか(小学6年)、伊調千春選手(当時)



高校時代、全国女子高校選手権

高い目標、素晴らしいコーチ陣、練習環境が整った安部学院高校に迷うことなく入学し、2年の時、レスリングを始めるきっかけとなった夢の舞台である天皇杯に初出場、3年では同大会51キログラム級3位となり表彰台に上がりました。また、クリッパン女子国際大会(スウェーデン)も2年3年と連続出場し、2年では準優勝するなど充実した高校時代を過ごしました。

娘の試合の審判をしていただいたことがある、日本レスリング協会審判員を務める栗田敦監督にお誘いいただき、1952年創立、学生チャmpions 30人以上輩出という、歴史と伝統ある法政大学レスリング部の一員に仲間入りさせていただきました。

先輩や同期に恵まれたものの、1年の時は環境の違いに戸惑い悩むこともあったようです。2年になった頃から自分のペースを掴み日々練習に励んでいます。



社会人オープン優勝、女子最優秀選手賞

大学入学後は、1年で初出場した明治杯(全日本選抜レスリング選手権大会)、天皇杯に連続出場、東日本学生選手権2年連続優勝、社会人オープン優勝などしてはいるものの、インカレでは結果を残せません。悔しさをバネに頑張つてほしいものです。

そんな矢先ですが、昨年末に膝を痛めてしまい今年に入り手術をしました。格闘技に怪我は付きもので、今までも指・肩・膝・足首と何度も怪我をしてきましたが手術は初めてでした。

練習好きの娘にとって今が一番つらいときかもしれません。しかし、リハビリをすることが練習だと思つて乗り越えてほしいと思います。

そして、マットの上で復帰した娘の試合を観られる日を楽しみにしています。

最後になりましたが、レスリングがオリンピック競技に存続したことを大変嬉しく思っております。応援していただいていた皆さまに感謝し心より御礼申し上げます。

(注1) 水泳と陸上競技を続けて行う競技 (注2) インドを中心に南アジアで人気が高いスポーツ

# 2013年度法政大学後援会表彰

学部・学年・組織名は表彰時のものです。

難関の国家試験など学術分野において優れた成績を収めた9人、スポーツ分野において優れた成績を残した7人、外国人留学生の中で、国際交流に特に貢献した4人に対して、千葉大一後援会会長より表彰状と副賞が贈られました。なお、スポーツ分野の7人は、後援会と校友連合会（現・一般社団法人法政大学校友会）との両組織からの表彰となります。

## 後援会賞 受賞者 (学術分野)



経済学部4年  
加治佐 一晃

志を高く持ち、妥協なく努力を続けられ、どんな夢でも叶うと思います。就職後もこの信念を忘れず、国のために努力したいと思っています。



デザイン工学部4年  
菊池 雄介

公務員試験の合格通知を受け取った時には、頑張ったかいがあったという達成感を感じました。初心を忘れないように、今後も努力を続けていきたいと思っています。



生命科学部3年  
諸橋 一樹

今回の合格で、今後の活躍の幅が広がったことを大変嬉しく思います。今後は日本の農業・食品関連産業全体の動向を常に把握して、良い仕事ができる人材を目指したいです。



法学部4年  
高松 亮祐

この度は素晴らしい賞をいただき誠にありがとうございます。今後も周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに一人前の社会人となるよう日々精進していきたいと思っています。



経済学部4年  
小野 真一

後援会賞をいただき光栄に思います。大学生活における目標を達成できました。会計のプロフェッショナルとしてたくさんの人から感謝される会計士になりたいと思います。



キャリアデザイン学部4年  
富井 竣介

目標にむかって毎日勉強をする日々はとても充実していました。そして合格を手に入れることができたのは周囲の方々の支えがあったからだと思っています。感謝を忘れず日々精進していきたいと思っています。



経済学部3年  
稲垣 大輔

このような栄えある賞をいただいたことをとても光栄に思います。これからプロフェッショナルとして社会に貢献するとともに、資格に恥じぬ人間性を身に付けていきたいです。



経営学部3年  
星 洋佑

この度はこのような賞をいただくことができ、誠に光栄に思います。今後は一人前の公認会計士になれるよう、日々自己研鑽に励み、社会に貢献していきたいと考えております。



経営学部3年  
山内 義明

この度はこのような名譽ある賞をいただくことができ大変うれしく思います。今後は現状に満足せず、常にチャレンジングな姿勢を忘れない公認会計士になりたいです。

## 後援会賞 受賞者 (スポーツ分野)



経済学部4年  
田子 祐輝

箱根駅伝を経験できたこと、部のみんなと過ごした4年間は一生の財産です。競技生活で培ったことを糧に新たな道でも飛躍できるように、精進したいです。



社会学部4年  
矢澤 航

このような名譽ある賞をいただくことができ、感謝しています。4年間で得たものを、先の新しい舞台への糧として、走り続けていきたいと思っています。



文学部4年  
新井 明恵

このような賞をいただけただけで光栄です。今後も学んだことを生かせるように頑張ります。



経営学部4年  
矢代 直仁

今後の生活においても4年間の体育会活動で得た経験と誇りを忘れず、新たな環境の下での活躍を目指して精進して参ります。



経営学部4年  
田中 喜貴

これからは社会人としてひたむきに、ぶれず、おごらず、前向きに人に幸せを与えられる人間になりたいと思っています。



スポーツ健康学部4年  
鈴木 世奈

オリンピックで勝利することができなかった悔しさを大きな力にして、4年後に借りを返せるよう心身共に強くなり、しっかりと前に進んでいきます。



法学部4年  
河合 完治

法政大学での4年間は私にとって財産であります。関わった全ての方に感謝をし、この縁を大切にしていより一層努力していきます。

## 外国人留学生 表彰者



経営学部4年  
崔 允泰

4年間は充実感と成長の日々でした。中でも、総留学生会や韓国人留学生会の会長の仕事に携わったことは特に思い出深く、大切な経験でした。このような経験を与えてくれた法政大学や周りの人々に感謝しています。



経営学部4年  
袁 靚

支えてくれた両親、友人、先生がいたからこそ、悔いのない留学生生活をおくることができました。その方々に感謝の気持ちでいっぱい입니다。この気持ちを忘れず、社会貢献できるように努力していきたいと思っています。



法学部4年  
劉 軍

法政の「員であることは僕の誇りです。素敵な先生と日本の学生に深く関わることができて、感謝します。今までお世話になった方、おかげさまで、うまく起業できました。頑張りたいと思います。



経営学部4年  
林 民

法政大学でたくさんの方のことを学び、成長を実感しました。常に支えてくれた多くの先生方、仲間、感謝申し上げます。今後は、この感謝を忘れずに、努力を続け、社会で活躍できるように努力していきたいと思っています。